

令和2年第2回江別市総合教育会議

1 日時 令和2年11月19日(木)午後2時00分～午後3時20分

2 場所 公室

3 出席者

(構成員) 江別市長 三好 昇
江別市教育委員会
教育長 黒川 淳司
委員 支部 英孝
委員 橋本 幸子
委員 林 大輔
委員 須田 壽美江

(学校教育支援室)

教育部学校教育支援室長 佐藤 学
教育部学校教育支援室学校教育課長 廣田 修
教育部学校教育支援室教育支援課長 松井 正行

(事務局)

教育部長 萬 直樹
教育部総務課長 近藤 澄人
教育部総務課総務係長 嶋中 健一
教育部総務課総務係主査 工藤 雅和

4 議題

- (1) 令和2年度江別市立小中学校における学力の状況について
- (2) 令和3年度教育施策及び予算に関する意見交換について
- (3) ICTを活用した学校教育について
- (4) Withコロナにおける学校活動等の現状について

三好市長	<p>定刻になりましたので、ただいまから、令和2年第2回江別市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>本日の会議は2時間弱行われますが、感染症対策で様子を見て空気の入替えをしながら進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議題は、令和2年度江別市立小中学校における学力の状況について及び令和3年度教育施策及び予算に関する意見交換について、ICTを活用した学校教育について、そしてWithコロナにおける学校活動等の現状についての4件でございます。</p> <p>それでは、次第に基づきまして、さっそく議題に入りたいと思います。</p> <p>初めに（1）令和2年度江別市立小中学校における学力の状況についてを議題といたします。</p> <p>資料が配付されておりますので、事務局から報告願います。</p>
廣田学校教育課長	<p>令和2年度江別市立小中学校における学力の状況についてご説明いたします。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>初めに、全国学力・学習状況調査についてであります。この調査は文部科学省が毎年度、国内全ての小学6年生と中学3年生を対象に、国語と算数・数学の教科で実施している調査です。ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。</p> <p>次に、江別市学力テストについてですが正式な検査名は、教研式標準学力検査NRTと呼ばれるものです。</p> <p>1の概要は、日本で最も多く実施されている標準学力検査であります。学習指導要領に準拠し、全国基準に照らして学力の相対的な伸びや差を客観的に把握することができま。各学校では、この調査結果を分析し、学力向上の取り組みを進めるための基礎データとしています。全国学力・学習状況調査の費用については無償ですが、こちらの標準学力検査は、検査を受けるのに費用が掛かりまして、費用を予算化し市の事業として実施しております。</p> <p>2の対象学年は、小学3年生、4年生、5年生及び中学2年生で実施しています。</p> <p>3の実施科目は、小学校が国語と算数の2教科、中学校が国語、数学、社会、理科、英語の5教科で実施しています。</p> <p>4の実施結果であります。全国平均を50.0として判断いたします。令和2年度の実施結果であります。①の小学3年生では、国語で全国平均を上回っております。②の小学4年生では、国語、算数、教科総合で全国平均を上回っております。③の小学5年生では、国語と教科総合で全国平均を上回っております。④の中学2年生では、5教科、教科総合の全てで全国平均を上回っている結果となっております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ただいま事務局から、令和2年度江別市立小中学校における学力の状況について、今年度の全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、例年実施している教研式標準学力検査NRTの結果の報告がありました。</p> <p>これに関連して、委員の皆さんからご意見等はございませんか。</p>
支部教育委員	<p>私の方から1点、令和2年度江別市立小中学校における学力の状況についてこの資料に基づきまして、意見を述べさせていただきたいと思います。</p> <p>今年度は先ほど、市長もおっしゃっていましたが、NRTが全国学力・学習状況調査の対象学年以外の学力検査として活用されていることを確認いたしました。残念ながら今年度の全国学力・学習状況調査は実施できませんでしたけれども、改めてNRTの結果をどのように分析したらいいかということ、私なりに調べてみました。</p> <p>具体的には、この結果を基に毎年、学習指導材料として学校現場では、どのように活用してきたのかということも私自身でも相当考えてみたところでございます。</p> <p>例えば、数学で相似という単元がございますが、この年度の生徒は相似が苦手というこ</p>

	<p>とが分かれば、その部分を補修学習することができるということで、誰一人取り残すことのない学習指導を実践することができていたのではないかと考えております。</p> <p>この補修の部分になると思います。現在も江別市で既に導入している学習サポート教員の充実も、欠かせないのではないかと考えております。</p> <p>少し話は逸れますが、学習サポート教員の導入など学校における先生方の働き方改革が推進されていることで、実力のある先生が江別市に集まってくる要因になるのではないかと考えております。</p> <p>これからも是非、この好循環を維持するために、NRTや全国学力・学習状況調査の結果を利用し、活用していただくようよろしくお願いいたしますと思っております。</p>
三好市長	<p>ただいま、支部委員からお話がありましたけれども、そのほか、何かございますか。</p>
須田教育委員	<p>感想になるのですが、子供たちは、例年どおり4月にNRTを受ける予定でしたが、今年度は3月、4月、5月と新型コロナウイルスの影響で休校となり、学校に行けなかったため、6月、7月に多くの学校でNRTを受けたと聞きました。</p> <p>NRTの結果ですが、ほとんどの学年で全国平均を上回る結果がでていることにほっとしております。</p> <p>懸念していたのは、3月が1年の復習にあたる大切な時期だと思います。その復習の時期に学校が休校になりましたが、そのような中でもNRTの結果から江別市の児童生徒はしっかり勉強をしてくれたのだなと思えました。</p> <p>毎年4月に行われるこのNRTを利用して、前年度の苦手箇所を確認し、先生方も結果を参考にしながら今年度の授業を進めていくと思っておりますが、今年行われていない学年でも活用してもらいたいなと思えました。</p>
三好市長	<p>そのほか、何かございますか。</p> <p>なければ、私から聞いてもいいでしょうか。</p> <p>まず、試験の時期ですけれども、NRTについて通常は4月に行われるとのことですが、今年度は6月や7月に行われたと聞きました。4月から5月までに新型コロナウイルス感染症の影響で休校でしたよね。このNRTは、学校を休んでいる時期の学力のチェックができるものでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>基本的には、4月に調査実施しているのですが、試験内容としては、前の学年、すなわち新小学5年生は前年の小学4年生の内容について、試験を行います。昨年度の学習内容がどれだけ身に付いていたかを調べるものになりますので、4月に行っています。</p>
三好市長	<p>では、このNRTの結果ですが、2月と3月は休校していましたので、そのときの影響を受ける可能性があるということですね。</p>
廣田学校教育課長	<p>はい、そうです。</p>
三好市長	<p>今年度と前年度と比較してみたら、一部数値が低いところがありますけれども、ほとんど変わっていないと言っていいのでしょうか。</p> <p>資料全体を見て、教育委員会としてどのような評価をするのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>通常であれば、小学6年生と中学3年生は、全国学力・学習状況調査を行っていて、小学1年生、小学2年生、中学1年生を除くそれ以外の学年でNRTを行っています。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で、全国学力・学習状況調査を行っていませんが、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果というのは、小学校、中学校ともに教科総合全てにおいて全国平均以上のレベルでした。</p> <p>その令和元年度に、全国学力・学習状況調査を受けた小学6年生と中学3年生は、前年の平成30年度の小学5年生と中学2年生のときにNRTを受けており、そちらの結果を見ますと小学校で算数が全国平均以下でありましたが、全国との差は、わずか0.5ポイント</p>

三好市長	<p>ントであり、ほぼ全国平均と言える結果でした。また、中学校は教科総合において全国平均を上回っておりますので、このNRTの結果というのは、全国学力・学習状況調査と同じように判断できると見ていいと思います。</p> <p>前年度の全国学力・学習状況調査で江別市の児童生徒は、全ての教科で全道、全国を上回りましたよね。</p> <p>また、その前の年は、小学校の一部は下回っていましたが、中学校は全ての教科で全道、全国を上回っていましたが。</p> <p>今年度は、全国学力・学習状況調査がなかったけれども、NRTのデータを見て、江別の児童生徒の成績は全く遜色がなく、前年度の全ての教科で全道、全国を上回った成績の傾向が続いていると理解していいのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>令和2年度のNRTのデータで見ますと、小学5年生の算数が49.7で全国の数値より0.3ポイント下回っておりますけれども、わずかということで全国平均並みと判断できると思います。</p> <p>一方、中学2年生の状況は、教科総合全てにおいて全国平均を上回っておりますので、そういう意味では、全国平均に達する学習状況というのが判断できると理解しております。</p>
支部委員	<p>このNRTの試験問題は毎年、同様の問題を出していると聞いています。結果を見るとどの分野で点数が取れなかったということまで分かるので、例えば江別市の児童生徒が平均点に届かなかった単元の原因を確認し、指導することで解けなかった単元を補完することができると思います。</p>
三好市長	<p>もう1点お聞きしたいと思います。</p> <p>比較についてですが、江別市内の学校間の比較はできますよね。</p> <p>全国の比較は資料に載っていますが、全道での比較はできるのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>全道との比較は、することができません。</p>
三好市長	<p>全道との比較はできないけれども、江別市と全国との比較評価になるということですね。</p> <p>分かりました。</p> <p>その他ご意見ございますか。</p> <p>よろしいですか（了）</p> <p>いろいろとご意見がありましたが、全体を通して教育長から来年度に向けた取り組みなどについて、ご見解をお聞かせいただきたいと思います。</p>
黒川教育長	<p>NRTにつきましては、大まかな結果のみが、今回の資料として提出されておりますが、実は、教科ごとに大領域の分析、中領域の分析、そして設問ごとの分析というふうに、非常に細かい分析が各学校には届いております。</p> <p>それを基に、支部委員がおっしゃったように、前年度の学習内容でやや不十分と思われるところを今年度の学習にどう生かすかということ、各学校は工夫をし、場合によっては、どうしてもここは振り返る必要があるとか、関連する単元の時数を増やす必要があるとか、様々な方法を取りながら、さらに次の学年の学習に生かしています。</p> <p>市長がおっしゃられたような全国と比較してどうなのかということにつきましては、この資料を細かく見ると、全国レベルとまったく遜色がないと私は考えております。</p> <p>先日、石狩教育局による学校経営指導訪問ということで全部の学校に訪問がありましたが、その報告の中でも江別市の子供たちの学習に取り組む姿勢や授業を聞く態度は、どの学校も本当に素晴らしいですとお褒めの言葉をいただいております。子供たちが落ち着いて学習に取り組んでいること、先生も分かりやすい授業に向けた工夫や改善の努力を重ねていることや子供たちの家庭学習の習慣も少しずつ身に付いてきているので、子供たちの</p>

学力については、確実に成果が上がっていると感じており、江別市の子供たちは、本当に安定した力を持っていると感じているところです。

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、学校で授業ができなかった期間もありましたので、授業時数について少し心配もありましたが、各学校に聞くと全ての学校で授業時数を十分に確保できたと報告を受けており、安心しているところです。通常の授業のほか、補充的な学習や発展的な学習にも各学校がよく取り組んでくれたものと思っています。

今後も、各学校がしっかりと学習内容を定着させられるように、ICT機器の活用をはじめとして、ハード面の整備や、先生への研修の実施など学校へのサポートに力を入れてまいりたいと考えております。

学力に関しましては、点数に表れるような知識や技能だけではなく、筋道を立てて考えられる力とか、自分の言葉で分かりやすく話す力、判断する力、さらには、学習に立ち向かう意欲、人間性といったものも含めて学力と考えることが重要と言われているところでもあります。

来年度につきましても、知識、技能、学習の点数も更に伸ばしたいですし、それと併せて、学校ならではの協働的な学び、友達と力を合わせて学ぶというようなことも大切にしながらICT機器も最大限に活用して、生き生きと学ぶ江別市の子供たちを育てるために、学校を支援してまいりたいと考えています。

三好市長

私の方から見たときに、新型コロナウイルスの影響で、授業時間が十分に取れているかどうかの心配、さらには、取れてなければ他の市町村から比べたときに学力が落ちているのではないかと、全国から見ても学力はどうか、以前から江別市は小学生のときは、全国平均を下回ることがあっても、中学生になって受験段階になると、教科総合で全国平均を上回ってきます。

小学生のときは、どんどん遊ぶことで体力を付けていただいて、中学生になると勉強を頑張っ、高校受験に備えてもらうという形ができているということで、高い評価をいただきました。

しかし、それがこの新型コロナウイルスの影響で、これまでの流れが、変わらず続いているのか心配していましたが、事務局からの報告によりますと、学習する時間も、学力も十分対応できていて、学ぶ意欲もあるし、石狩教育局からも高い評価をいただいていると聞いて、安心いたしました。

昨今の状況を見ると、現在の新型コロナウイルスの影響がまだ続くと思っておりますので、子供たちや先生方への配慮をよろしくお願いいたします。

以上で、本件を終結いたします。

次に、(2) 令和3年度教育施策及び予算に関する意見交換についてを議題といたします。

お手元に、資料が配付されておりますが、去る10月12日に新年度に向けた予算編成方針説明会を開催し、私から新年度予算編成に当たっての職員への指示事項を申し上げたところであります。

第6次江別市総合計画えべつ未来づくりビジョン後期のまだ3年目でございますので、従前どおり進めていこうということでございます。

具体的には、基本理念である子育て応援のまちという計画の柱の中で、引き続き、教育を充実させようという方向で進めることとなりますが、その根幹には、協働のまちづくりということで、全員で一緒になって、教育の充実を図り、子育てを進めていこうという考えがございます。

しかしながら、先ほども話に出ましたが、新型コロナウイルスの影響がございまして、仕事の方法そのものが大きく変わってきましたが、教育も少しずつ変わってきていると思います。

国におきましても、GIGAスクール構想の準備ということで、新型コロナウイルスが出てくる少し前から、校内LANの整備や、1人1台端末が実現した際の電源を確保するための経費について、令和元年度補正予算により公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金を設けられました。また、令和2年度補正予算においては、今回の新型コロナウイルスの関係で設けられた公立学校情報機器整備費補助金により、一斉にタブレット

	<p>端末や多機能大型ディスプレイなどのICT機器の導入ができるようになり、国の言うGIGAスクール構想が一気に進むという形になりました。</p> <p>私も2020年の行政のデジタル化の関連で基礎自治体の様々な手続き、例えば住民票の取扱いや印鑑証明なども、今、大きく変わろうとしております。</p> <p>そうなりますと、役所や教育委員会、教育現場を含めて仕事の中身、方法が変わるのではと思います。</p> <p>聞くところによりますと、教育委員の皆さんは、先日の定例教育委員会で資料についてご説明を受けたとお聞きしております。</p> <p>本日は、来年度の教育施策及び予算に関する意見交換ということで、例年、市教委予算の研修協議会から新年度予算に関しての要望を受けているとのことですので、その点も踏まえて、皆さんと議論を深めたいと思います。</p> <p>来年度の予算につきまして、何かございませんか。</p>
林教育委員	<p>予算に関して私の方から申し上げます。</p> <p>今、市長が言われた江別市が掲げる子育て応援のまちについて、これは非常に良い政策だと思いますし、イコールまちづくりということを意識していると理解しています。</p> <p>やはり、学力の向上と教育の充実を図って、人口減少に歯止めを掛け、そして結果的に選ばれるまちづくりをすることが将来的に子供たちのためになると考えられます。</p> <p>そのためにも教育予算というのは非常に大事な予算ですので、全体のバランスを見ながらになるのですが、十分確保いただきたいと思います。その中でも特に、中学生のデジタル教科書ですが、市教委予算の研修協議会にて5教科分求められていますので、可能な限り対応してほしいと思います。また、小学校のデジタル教科書の社会科、理科で一部未達分があると思いますので、そちらも進めていくべきだと思います。同時にICTの環境整備も、当然進めなくてはならないですし、先生のタブレット配備も必要になっていきます。</p> <p>江別市が電子黒板を一斉に導入した実績があって、それによって子供たちの学力に大きく貢献したということがありますので、そのときのように迅速な対応をしていく必要があると思っております。</p> <p>それと、GIGAスクール構想が進んでいると思いますが、新しい機器導入時に、一時的ですが先生の業務量はかなり増えると思われまます。そうなってくると結果的に子供たちに対する時間が奪われかねないという懸念があります。</p> <p>例えば、タブレット端末を導入するということは、当然、故障することもあるので、故障対応や操作の説明など先生向けの講習会などのサポート体制を充実させるなど、スムーズな移行を目指すための予算も大切ではないかと考えています。</p> <p>既に、校内LANの調査・工事が行われている中、新型コロナウイルスの影響で作業が遅れることもあろうかと思いますが、工夫しながら進めていただきたいという思いでおります。</p>
三好市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、林委員からお話がありましたけれども、平成25年、平成26年と他の市町村に先駆けて小中学校の全学級に電子黒板を導入しまして、学校からの反応を見ていたところ、子供たちも先生方も非常に好評で、これがきっかけで子供たちの学力が急に上がった感覚がありまして、一斉に入れてよかったなと思います。</p> <p>今回、GIGAスクール構想で国が政策的なものを打ち出しましたけれども、全国的に見ると1人1台端末が進んでいるところと進まないところの濃淡があり、今回、国が校内LANの予算を立てて、さらには、タブレット端末用電源キャビネットの整備などの基盤整備をして、ICTを活用した教育の体制をつくろうとのことでした。しかし、問題は、要である1人1台端末のところまで市町村の手が回らないということと、もう一つはタブレット端末の機種や単価もバラバラだったことです。市町村からしたら、どの金額が標準的な価格なのかとか、どこまでの機種を入れるべきかについて、なかなか判断が付きませんでした。国はそこにやっとメスを入れてくれて、どこのメーカーのタブレット端末を購入しても、1台4万5,000円という単価を決めてくれました。</p> <p>しかし、タブレット端末に入れるソフトについては、価格がバラバラのままです。そ</p>

	<p>のソフトの価格について、文部科学省に話をするタイミングがありまして、回答としては、各学校がどのようなソフトを導入するのか、まだ始まったばかりで、価格の調査をしていませんとのことでした。</p> <p>今回、全国的にソフトが導入された後に調査をした上で、次回のタブレット端末やソフトの更新時ということで5、6年先の話になりますが、全国共通の価格を整えたいという話をしておりました。</p> <p>また林委員からデジタル教科書の話もありましたけれども、今のところ、デジタル教科書の予算措置について国からの情報は一切なく、江別市独自で導入することになるかと思えます。</p> <p>江別市の予算上、一斉に導入するとなると非常に難しいのですけれども、先生のデジタル教科書の指導要領がないと、導入しても効果が半減するだろうということで、指導要領ができる頃にデジタル教科書も一斉に導入するような仕組みにしないといけないという話をしておりました。</p> <p>しかし、国のデジタル教科書への対応については、まだ決まってはおりません。</p> <p>ですから、江別市といたしましても 国の動向をみながら、できるところから導入する方向で考えていますので、いっぺんに全部の学校に導入することは、金額面で難しいとは思いますが、既に幾つかの教科でデジタル教科書を導入しておりますので、なるべく拡大していく方向で取り組みたいと思っております。</p> <p>子育て応援のまちについても林委員から話がありましたが、年少人口のうち、特に未就学児の人口が増えてきていて、各学校の人数が増えているようなデータは、事務局で持っていますでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>児童生徒の増減に関してですが、令和2年5月1日現在で見ても小学校全体で昨年より、116名増えております。中学生は、逆に44名減少しています。</p> <p>全国的に児童生徒が昨今減少傾向だと言われている中で、江別市はトータルで72名増加している状況でございます。</p> <p>この傾向というのは、宅地造成が続いておりますので、来年に向けても同様の傾向があります。そこを踏まえた上で学校に導入するタブレット端末も整備する必要があるというふうに考えております。</p>
三好市長	<p>選ばれるまちになるためには、子育て環境と教育が重要だと思っておりますし、教育委員会としても、そういう方針で、是非、教育の充実を図っていただいて、江別市で学ばせようという気持ちになっていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ほかによろしいですか。(了)</p> <p>令和3年度の予算に関する意見交換ということで、最後に、黒川教育長から何かございますか。</p>
黒川教育長	<p>予算に関わりましては、GIGAスクール関係が非常に大きな額となりましたけれども、それ以外にもたくさんの事業がございます。</p> <p>今年度も市教委予算の研修協議会からの要望や、学校からの日常的な意見を通じて教育委員会としてそれをしっかりと把握し、適切な予算となるように努めてまいりました。</p> <p>今後も、学校現場の声に十分に耳を傾け、総合教育会議の場をお借りして、予算編成権をお持ちになる市長に、教育現場のニーズや現状をしっかりとお伝えしてまいりたいと考えています。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
三好市長	<p>分かりました。</p> <p>私からも一つお願いがございます。</p> <p>限られた予算ですから、十分に答えられないこともあると思っておりますけれども、今後、事業について精査いたしますが、ここだけは譲れないというものがあるかもしれません。様々な組み合わせを含めて、効率の良い方法で、対応していただきたいと思っております。</p> <p>どちらにしても、私は人口問題が総合計画の最大の課題だとずっと言い続けていまし</p>

<p>廣田学校教育課長</p>	<p>た。平成17年をピークに人口は減っていましたが、現在は前年同月より増えてきて、全国的にも珍しいケースと言われているので、この流れは止めたくないと思っています。私は、人口増加の流れを止めないための後押しとなるものが、子育て・教育だと思っています。今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>以上で、本件を終結いたします。</p> <p>次に、(3) ICTを活用した学校教育についてを議題といたします。</p> <p>資料が配付されておりますので、事務局から説明願います。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>ICTを活用した学校教育について、ご説明いたします。</p> <p>資料3をご覧ください。</p> <p>初めに、GIGAスクール構想推進事業におけるタブレット端末導入スケジュールについてであります。江別第一小学校をモデル校として先行的に導入し、運用を行いながら課題等の把握に努め、他校への円滑な導入につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>項目ごとにご説明いたします。</p> <p>モデル校である江別第一小学校についてであります。教育用専用回線となる新規回線の敷設は、10月に現地調査、11月上旬に工事を終え、新規回線の利用が可能な状況であります。次に、タブレット端末の導入についてであります。まず指導者用のタブレット端末を先に導入し、その後、児童生徒の学習者用のタブレット端末の導入を考えております。江別第一小学校では、指導者用タブレット端末は、現時点では、11月中旬以降、正式には明日20日金曜日に導入できることとなりました。学習者用タブレット端末は11月下旬以降の導入を予定しております。</p> <p>次に、モデル校を除いた24校での導入スケジュールについてであります。新規回線の敷設は、年内に現地調査を終え、年度内に新規回線の利用が可能となる予定であります。指導者用タブレット端末は、現時点では、12月下旬以降順次導入し、学習者用タブレット端末は1月中旬以降に順次導入予定であります。各学校では、端末導入後、運用準備期間を経て、令和3年6月からの本格運用開始を考えております。</p> <p>次に、資料の裏面をご覧ください。</p> <p>1人1台端末及び多機能大型ディスプレイ導入後のICTの学びへの活用についてあります。一斉学習では、先生は授業中に児童生徒一人ひとりの反応や考え方を把握しながら双方向型の授業を進めることができます。個別学習では、一人ひとりのニーズや学習状況に応じた個別学習を行うことができます。協働学習では、子供たち一人ひとりの考えをリアルタイムで共有することができるようになるので、児童生徒同士、双方向で意見交換が可能になるほか、児童生徒の多様な意見に触れられ学びを深めることができます。1人1台端末を活用した教科ごとの学びについては、資料の中段に記載のとおりでございます。</p> <p>また、資料右下に記載しております、ICTの活用により充実する学習の例でございますが、調べ学習として課題や目的に応じて、インターネット等を用いて、様々な情報を主体的に収集・整理・分析ができるほか、写真や動画等を用いた多様な資料・作品の制作、学校外の遠隔地とつないだ遠隔教育の実施なども可能となります。</p> <p>以上です。</p>
<p>三好市長</p>	<p>ただいま事務局からICTを活用した学校教育について説明がございましたけれども、委員の皆さんからご意見、ご質問等はございませんか。</p>
<p>橋本教育委員</p>	<p>先ほどから市長がお話しされていますように、GIGAスクール構想が推進することによって、ICT環境が整い、授業も大きく変わっていくと思います。子供たちの習熟度を先生方が把握しやすくなり、個人への対応や学習の進め方も、今以上にスピーディーな方策などが実践しやすくなるだろうということで、全体的な学力向上につながるのではと思います。とても楽しみにしています。また、子供たちもこれからの時代に対応していけるように自分の興味のあることをどんどん深く調べたり、突き詰めたりして学ぶべき楽しさを知ることも良いことだと思います。資料にもありますように、タブレット端末を活用しながら仲間と情報交換や違った意見の確認とか自分の作品を発表したりなど、使い方は無限にあるのかなと思います。</p>

<p>三好市長</p>	<p>ちょっと話が逸れますけれども、大学とかで新型コロナウイルスの影響で行われているオンライン授業について、いろいろな報道等を見ますと、最大の壁は学びへのモチベーションの維持だったという話を見聞きし、大人になった大学生ですら、個室に一人で学ぶというのが、大変難しかったと聞きます。ましてや成長期にある小中学生が一人で学ぶことのできる子は、ごく僅かなのかなと思っています。</p> <p>やはり仲間と共感や助け合い、励まし合ったりしながら学びの中で、成長していくのかなと思っています。学校は学びの場であるとともに、成長の場でもありますので、新型コロナウイルスの影響で学校生活も制限されることが多くなりましたが、タブレット端末を利用することで、それを補えるような使い方や子供たちと一緒に先生方も楽しんで学んでいけるような使い方ができるであろうと期待しているところであります。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私から聞いていいですか。</p> <p>今までの平成25年から入れた電子黒板と今回導入する多機能大型ディスプレイの違いは、一人ひとりの考え方を表示させたりすることができるということですよ。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>先ほど、三好市長がお話したとおり、今回導入する多機能大型ディスプレイはこれまでのデジタル教科書を活用し画面に投影もできますし、画面に児童生徒の回答を一斉に投影して共有することもできますので、いろいろな活用が見込まれるものであります。</p>
<p>三好市長</p>	<p>今までは、クラスに30人いたら自分以外の29人の意見を見比べたりすることが容易でなかったものが、このICTの活用で多機能大型ディスプレイにクラス全員の意見を投影し、自分と違う意見や考え方があることを対外的に気づいたり、見ることができるということが重要で、その効果が大きいと思います。</p> <p>また、私は、タブレット端末を利用したオンライン学習は個人的な学習であってメインの学習ではないと思っています。</p> <p>もう一つお聞きしますが、その他の使い方として、この多機能大型ディスプレイは投影した情報の蓄積はできるのでしょうか。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>この多機能大型ディスプレイ自体は、インターネットと直接接続できますので、クラウドを利用することで、情報の蓄積は可能であります。</p>
<p>三好市長</p>	<p>子供たちが以前に勉強したときの考えを後で表示することも可能ということですね。</p> <p>先ほどの話の続きになりますが、このGIGAスクール構想は文部科学省が1年2か月程度要して進めています、文部科学省も、どこまでやるべきかについて、なかなか判断が付かないということや予算の問題などもあったようです。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスへの対応の中で国からの交付金が利用できたので、今回、一斉に整備することができました。</p> <p>ただ、次の更新時期に同じように整備できる保証が一つもありません。そこが不安でございます。当然、機械ですから更新の時期もありますし、常に新しい機器も出てきます。そうすると近隣市町村で整備面の比較論になりかねないと思っていまして、そこも心配でございます。</p> <p>それともう一つ、新しい機器が導入された後の先生方への研修対応について、これからの教育の課題になると思っております。そこで、資料のスケジュールについて確認しますが、指導者用・学習者用タブレット端末の運用準備期間が先行運用期間を含めると江別第一小学校の例では随分長く、他の24校になると最短で2か月しかなく、準備は大丈夫でしょうか。</p>
<p>佐藤教育支援室長</p>	<p>この資料3の表ですが、先行モデル校の運用期間が長いのは、各学校への課題を把握する上で、期間を長く取っておりますが、他の24校につきましては、指導者用タブレット端末については、仮に2月から5月までの期間が運用準備期間になってはいますが、実際には、その期間内に順次導入して、運用準備期間に入っていただくことを想定しておりますので、実際には2か月以上は取れると考えております。</p>

三好市長	<p>考え方によっては、この24校の指導者用・学習者用タブレット端末のラインが一般的なスケジュールで先行導入モデル校の江別第一小学校については、もっと時間が取れているという認識でいいですか。</p>
佐藤教育支援室長	<p>そのとおりです。 他の24校の先生方にも江別第一小学校に出向いてもらって、そこで一緒に研修や事前の準備をしていく計画になります。</p>
三好市長	<p>分かりました。 タブレット端末導入後、最初は混乱すると思います。最初から100%できると思っていませんけれども、先生にストレスが掛かってはいけないと思っております。操作方法を学ぶのに、なるべくストレスを解消して、他の授業に影響がないようにしなくてはならないと思います。 そのほか、何か意見ございませんか。 よろしいですか（了） なければ、3つ目のICTを活用した学校教育についてを終了いたしますが、何度も申し上げましたが、学校におけるタブレット端末や多機能大型ディスプレイの整備などを進めることで、子供たちの学び方が変わることになると思います。併せまして先生方の教え方も変わらなくてはならない。そして、我々もそれに関連して、ICT環境の準備をしていかなければならないと思っております。予算でカバーできるところとなかなかカバーできないところもあると思います。教育委員会で、準備する学校の先生方の指導や研修の環境を整えてもらいたいと思います。 どうしても、タブレット端末などを利用した学習方法が中心になるのが、本当に学校の教育としていいのかなという心配もしております。外で思い切り遊ぶことも学びだと思えますし、現場重視でいろいろなことをやるのも学びだと思えます。今回のコロナ禍で、児童生徒の教育のために学校では様々な工夫をしてもらいました。オンライン学習が、最善の学習のような風潮もないわけではないです。ですが、学校に来て学んで、それを補完するのがオンライン学習だと、従前から私は思っております。ただ、教育委員会として別な考えもあるかもしれませんが、学校というその一つの場所は、大事な場所だと思えますし、教育現場の先生方も同じ考えだと思えます。今一度、学び方などを教育現場で十分、協議をして進めていっていただきたいと思えます。 よろしく願いいたします。 次に、(4) withコロナにおける学校活動等の現状についてを議題といたしますが、一度、この辺で室内の換気をいたします。 換気のため暫時休憩します。 ※休憩中に、換気を行う。 再開します。事務局から説明願います。</p>
佐藤教育支援室長	<p>Withコロナにおける学校活動等の現状について、ご説明いたします。 資料4をご覧ください。 1の学習活動についてであります。6月の学校再開後は、夏休みの登校日設定、土曜授業の実施、学校行事の精選や見直しを行い、一斉休校により遅れた授業時数の確保に努めました。さらに、学校行事や教科指導においては、感染症対策を徹底するため様々な工夫を行っております。 表に記載のとおり、学校行事においては、運動会や学芸会で種目や観覧人数を制限した上、実施することとしております。しかしながら、学芸会につきましては、多くの小学校で11月から12月に掛けて実施する予定となっており、北海道の警戒レベルの引上げ等を踏まえ、無観客による開催や、やむなく中止する学校も出てきております。 また、修学旅行や宿泊研修については、旅行先を陸路で移動できる道内とするなど、特に中学校において例年とは違う行程で実施しております。 指導教科においては、各教科で3密を避けるための対策を講じており、体育においては</p>

	<p>接近する活動や向かい合う時間を短時間とする、大声を出さないようにする、音楽では合唱をする際には距離を保った上で、マスクを着用するなどの対策を徹底しております。</p> <p>2の衛生指導についてであります。各学校では文部科学省が示す衛生管理マニュアルに基づき、養護教諭が中心となり、児童生徒に対し、手洗いやマスク着用などの衛生指導をしております。また、学校に配置している3名の看護師が先生に向けて感染症予防に関する資料を発行したほか、看護師が講師となり冬期に向けた対策をテーマとした研修を教頭会で実施する予定となっております。</p> <p>3のいじめ・誹謗中傷対策についてであります。現在、感染者や医療従事者とその家族に対する誹謗中傷などが社会問題となっており、教育委員会では、学校ホームページや保護者に配付する学校だよりを活用し、感染症に関するいじめの防止や把握等の取り組みに努めております。さらに、本日お手元に配付しておりますが、子供たちに新型コロナウイルスを正しく理解してもらうために、市保健センターが作製したオリジナルノートを全児童生徒に配付する予定となっております。</p> <p>続いて資料5をご覧ください。</p> <p>11月11日に初めて市内中学校において1名の生徒が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。経過や教育委員会並びに学校の対応については記載のとおりとなっております。感染した生徒のクラスメイトや同じ部活の生徒や顧問などがPCR検査を受けておりましたが、15日の日曜日までに全員が陰性と判明したことから、17日の火曜日からは濃厚接触者数名を除き、登校を再開しております。</p> <p>江別保健所からは、当該校での感染症対策は徹底されており、校内での感染拡大を防ぐことにつながったのではないかと話を伺っております。教育委員会では、今回の件を踏まえ、学校内での感染拡大防止には手洗いやマスク着用、十分な換気などの基本的な取り組みが重要であることを改めて認識したところであり、校長会でこうした事例を共有するなど、引き続き、全小中学校に対し感染症対策の徹底を呼び掛けてまいりたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ただいま事務局からWithコロナにおける学校活動等の現状について報告を受けましたが、委員の皆さんからご意見等はございませんか。</p>
林委員	<p>新型コロナウイルス感染者が市内小中学校の児童生徒から確認されたことですが、今の状況を見ると、り患してしまうのは、ある程度やむを得ないという状況になってきていると思います。その中で、感染症対策をしっかりとした上でというのが大前提ですが、正しく恐れることが大事なのかなと思います。児童生徒自身もそうですし、児童生徒がかかなくても家の人がかかって、児童生徒が濃厚接触者になる可能性もあります。今までは何でも行事を中止にするなど、最大限、感染が拡大しないように、学校閉鎖、学年閉鎖をしていましたが、ある時期までは仕方がなかったと思いますが、これからは、この新型コロナウイルスとうまく付き合っていくことを考えないといけないと思います。</p> <p>極力、学ぶ機会を尊重して、最大限配慮しながら最小限の対応で乗り切るというような対応をしていかないと、子供たちの学ぶ機会がなくなってしまう可能性もあることが懸念されます。何度も言いますが、感染症対策をしっかりとした上で子供たちの学習の場を確保することが、大事だと思います。</p> <p>そのために、どうやって新型コロナウイルス感染症を防ぐのかとなるわけですが、最近、私の勤め先にも空間を洗浄するとか空気の壁を作って遮断するなどいろいろな売り込みがあります。しかし、どれもエビデンスがないというか、はっきり効果が分からないものが多いと思います。結局のところ、最後は、うがい、手洗い、マスクの着用、3密を避けるということしかないですね。このことをしっかりと今の学校で行われていることで、本当に最小限に押さえられていると思います。</p> <p>当たり前のことを当たり前やる。当たり前のことをやり続けることが難しく、忘れた頃にどうしてもそこからほころびて、今までやっていたことがやれなくなることが多いと思います。この新型コロナウイルス感染拡大を止めると言うか、広げないためには、今一度、学校にしつこいくらい声掛けしてやり続けてもらうことしかないと思います。</p> <p>先ほど、この部屋も換気しましたがけれども、これから北海道は冬になって換気が難しい</p>

	<p>とは思いますが、換気を定期的に行うことも効果的だと言われています。一回換気すると室内が暖まるまでに、時間も掛かりますし暖房費もかさみますが、それでも新型コロナウイルス感染症を防ぐためにしっかり換気しながら、何とか江別市で感染拡大をしないようにということと、仮に感染者が出たとしても、いじめや誹謗中傷につながらない取り組みをしていただきたいと思います。</p>
三好市長	<p>ありがとうございます。 そのほか、何かございますか。</p>
須田委員	<p>私が一番心配なのは、小中学校の児童生徒で新型コロナウイルスの感染者が確認されたことによるいじめや誹謗中傷が、一切ないのだろうかということです。最近では、保護者の間で情報が伝わるのが、とても早いという印象を受けました。</p> <p>また、先ほど林委員からもご意見ありましたが、冬場の学校での換気の方法で何か江別市から実施方法について、学校にお知らせしたりしているのかをお聞きしたいと思います。</p> <p>あと、学校の休み時間に児童生徒が体育館で遊ぶと思うのですが、体育館で密にならないようにどのような対策をとられているのかなと疑問に思ったので、お聞きしたいと思います。</p>
松井教育支援課長	<p>いじめや誹謗中傷の関係ですが、いじめの件数は年々増加しておりますが、今回の新型コロナウイルスに関連したいじめについては、今のところ報告はございません。</p> <p>しかし、これから新型コロナウイルスの感染が拡大し、小中学校の児童生徒が新型コロナウイルスの感染者となる件数も増えてくることも想定できます。8月に国から新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けてという通知もありましたので、それについても各学校に通知いたしまして、いじめや誹謗中傷が行わないような対応をするように周知、啓発を行っております。</p>
廣田学校教育課長	<p>私からは、換気についてご説明します。先ほどの説明でもありましたが、各学校、国から示されています衛生管理マニュアルに従って進めております。その中でも、換気は密閉の回避のために欠かせなく、北海道でも二方向の窓を同時に開けての定期的な換気が必要となってきております。</p> <p>体育館の換気についてですけれども、体育館のような広く天井が高い部屋であっても、換気は感染防止の観点から重要でありますので、各学校で定期的に入出口や窓を開けて換気を行っているところであります。</p>
三好市長	<p>そのほかございますか。</p>
須田委員	<p>今の体育館関連で、以前であれば、休み時間が始まるとたくさんの子供たちがいっぺんに体育館に来て遊びますが、今現在はどうのような対応をしているか分かりますか。</p>
黒川教育長	<p>おそらく、月曜日は1年生、火曜日は2年生、昼休みは高学年というように、人数が多くなつてぶつかってけがをしないように今までも工夫しているのですが、より一層そういう工夫をしているのではないかと思います。</p> <p>学校では密を避けるということについて、かなり神経を使っているのですが、今までどおりに行っている学校はないと思っております。</p>
三好市長	<p>そのほかございませんでしょうか。</p>
林委員	<p>よく会議をするときは、窓や扉を開けたりしていますが、授業中も開けているのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>基本的には開けております。</p>

林委員	<p>これから冬に掛けて、学校によっては寒いですよ。</p> <p>この間、ある会議で窓を開けて会議を行ったのですが、寒いのでジャンパーを着て会議を行ったことがありました。学校ではそこまでできないですけれども、教室の入り口のドアを閉めるのであれば、定期的な換気をこまめにする必要がありますよね。</p>
黒川教育長	<p>学校によっても、廊下の暖かさには校舎の経年によって差がありますが、基本的にはちょっと寒くても廊下への扉は開けております。換気のとくに、子供たちが寒い寒いというときもあります。先生は換気の大切さを伝え、扉や窓を開けております。ただ、極端に寒い日については、子供たちへジャンパーを着るように指示していると聞いております。1時間に1回、窓を全開にすると窓側に近い子供たちは寒くなりますので、ちょっと開けるのを長めにするとか工夫をしている学校もあると聞いております。</p>
三好市長	<p>そのほかございませんでしょうか。</p>
橋本委員	<p>新型コロナウイルス感染症のためにできることは、自ら予防するしかないと思います。それについては、学校に配置されている看護師の方もいますので、江別市の場合は安心だと思っています。看護師の方に頼って相談して、子供たちの指導していただければいいなと思っています。</p> <p>いじめや誹謗中傷については、事前の教育が一番重要だと思っています。十分周知されていると思いますけれども、自分が感染しているかもしれないとか先生も感染しているかもしれないということで、誰が感染していてもおかしくない時代だということ、子供たちも理解していくように、伝えていただきたいと思っています。</p> <p>感染症に対する予防やいじめや誹謗中傷について、それ以外の方法は今のところないのかなと思います。</p>
黒川教育長	<p>先ほど、いじめの数自体は少し増えているというお話がありましたけれども、実はいじめの定義が変わったことによって、どんなに小さいものでもいじめと認定しているため、数が増えていることをお知らせしておきます。実は、小学校で1年生のうちからいじめはどんなことがあっても許されないことだと思おうと答える子は90%を超えています。しかし、校長会の中では、絶対いけないことについて100%まで高めようという取り組みを進めております。</p> <p>例えば、子供たちにいろいろな人がいることを理解すること、人によって違いがあることについて繰り返し指導しておりますし、児童会や生徒会での取り組みや年2回以上のアンケートで嫌な気持ちになったことや嫌な言葉を言われたことがあるなどといった回答があれば全部いじめとして報告し、その後、丁寧な聞き取り調査の中で仲直りをしたことまでを確認しておりますので、子供たちの中でいじめというのは絶対いけないという認識はかなり高いです。</p> <p>ただ、今回、新型コロナウイルス感染者が児童生徒から確認されたことによって、学芸会を延期することになるとしたらということをお心配している校長もおりました。学校では、子供からではなく親から、あの子が感染したせいで学芸会が中止になったということが広がっては嫌だなということだったので、学校で子供たちにいじめはどんなことがあっても許されないと指導しております。そして、学校としてもやさしい学校でありたいので、保護者の皆様には個人的なことについて、責めたりすることのないように、くれぐれもよろしくお願いいたしますというような文章を配付しているところでございます。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。そのほか、何かございますか。</p> <p>よろしいですか。(了)</p> <p>先ほど、前段では、学習活動についての説明がございまして、様々な工夫をして、運動会や学芸会、修学旅行が行われたということでございます。</p> <p>衛生指導についても、手洗い、消毒、マスク着用など一昨年、看護師を3名学校に配置いたしましたけれども、有効に活用していただいて、現場で指導されているという話も聞きまして安心をいたしました。</p> <p>市内小中学校で感染事例もありましたが、これからこのようなことが続く可能性もござ</p>

いまして、今回の対応事例が教育委員会としても先例になると思います。学校の先生も感染する可能性がありますので、先生が感染した場合の対応の問題も出てくると思います。これから健康福祉部とも十分に協議し、相談しながら進めていただきたいと思います。

教育委員の皆さんからいただいたご意見では、新型コロナウイルスに対して、正しく恐れるということやいじめや誹謗中傷につながらない取り組みについての話もありました。

心配なことはたくさんありますけれども、やはり、林委員もお話ししていたように、基本に立ち返った一層の感染予防が大事だと思います。つまり、一人ひとりが手洗いや消毒をして感染予防をしていただくということに尽きるのではないかと思います。当然、教育現場で子供たちが手洗いや消毒をしていれば、親も当然、手洗いや消毒をしたいと思いますし、それを見て、子供たちもきちんと手を洗ったり、消毒したりすると思います。こうした感染予防の基本を徹底するしかないのではとっております。

これから年度末に掛けて、様々な授業や学校行事があります。これらの行事などにおいても、感染対策を徹底していただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

全国や全道の感染状況の傾向を見ると、まだ、感染の波は、いまだ動きの途中のようで、まだまだ感染者が増えるような雰囲気もございます。子供たちも含めて行動が委縮しては困るなと思いつつも、今は、我慢の時期なのかなとも感じております。教育現場にはたくさんの子供たちがいらっしゃいますので、その子供たちに配慮した感染予防をお願いしたいと思っております。

また、北海道の現状、そして江別市の現状に注視しながら、これからの教育活動をより良いものにするためにも、教育委員会の皆さんと意思を一つにして進めていく必要があると思っております。教育長、教育委員の皆さんにおかれましては、今後もご尽力いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

これで、予定していた4つの議題は、全て終了いたしました。

次に、3その他についてですが、本日、協議した以外のことで、何かご意見等はございませんか。

よろしいですか。(了)

それでは、本日の総合教育会議の予定した議事は、全て終了しました。

次回以降の会議は、また日程調整をしながら進めてまいりたいと思っておりますが、今のところは、緊急で協議を要する事案がない限り、新年度の開催を考えております。その際は、事務局を通じてご連絡をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上をもちまして、本日の江別市総合教育会議を閉会いたします。

熱心なご議論、ありがとうございました。